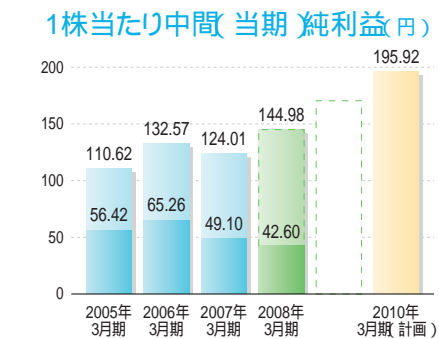
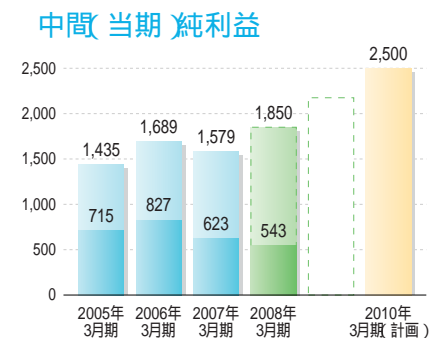
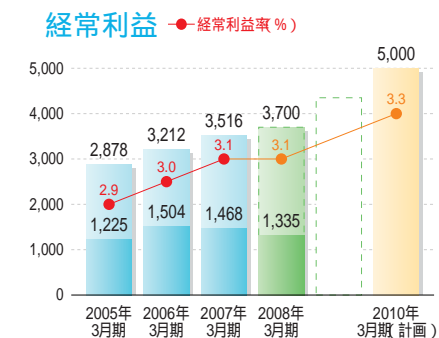
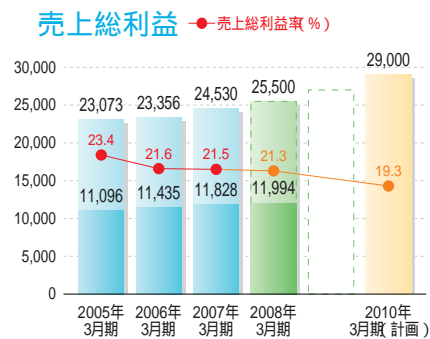
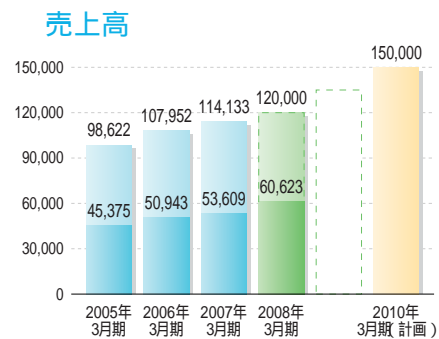


CONTENTS

- 業績の推移および計画…… 01
- トップメッセージ(営業の概況)…… 02
- セグメント別概況 …… 03
- JALUXグループの
ビジネスフィールドの拡充 …… 05
- 中間連結財務諸表(要旨)…… 07
- 株式情報 …… 09
- 会社データ …… 10
- 株主優待について

業績の推移および計画(単位:百万円) Financial Summary



グラフの色の濃い部分は中間期業績を表します。
利益率は通期の数値を表示しています。
2008年3月期(通期)以降は予想または計画値です。

将来の計画に関する記載は、現在において入手可能な情報および仮定に基づき作成しており、実際の業績はさまざまな要因により計画と異なる場合があります。

トップメッセージ(営業の概況) Message from the CEO (Sales Outlook)

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当中間期は、一般消費動向など総じて堅調な事業環境のもと、航空関連、生活関連、顧客サービスの各事業とも概ね順調に推移し、特に、航空関連事業では、海外のエアライン向け中古航空機の販売、生活関連事業では、農水産物の輸入販売などで好調な実績をおさめました。また、顧客サービス事業は、空港店舗事業で減収となりましたが、不動産の開発・販売などで実績を伸ばしました。

これらにより、当中間期の売上高は606億円と前中間期を上回りましたが、コンピューター基幹システムの開発・更新に伴う一般管理費の増加や、店舗事業の減益などにより、営業利益、経常利益、純利益におきましては前中間期を下回りました。

システム関係の投資負担を本業で補う見込みが、若干いかなかったということですが、一方で、事業セグメントごとの営業利益は、それぞれ前中間期を上回っており、当社の事業収益力そのものが低下したということではありません。

したがいまして、通期では期初計画どおり増収増益を目指し、継続的な成長と、適切な株主還元のために尽力してまいります。



所存でございます。
引き続き、皆様からのご期待と、ご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
岡崎 俊城

連結業績 (単位:百万円)	2007年9月 中間期	前期比 (%)	2008年 3月期予想	前期比 (%)
売上高	60,623	113	120,000	105
売上総利益	11,994	101	25,500	104
営業利益	1,258	90	3,500	108
経常利益	1,335	91	3,700	105
純利益	543	87	1,850	117

通期の業績の見通し(2008年3月期予想)

下期においては、不動産事業(顧客サービス事業)で、販売用不動産(土地建物)の販売を予定し、この営業利益(期初計画未算入)が通期計画の達成に大きく寄与する見込みです。

また、通販事業(生活関連事業)では、新システムの本格稼働にともなうマーケティング力の向上と効率化、他社との提携・協働による商品分野の拡充などにより着実な増益をはかってまいります。

さらに、店舗事業(顧客サービス事業)では、『BLUE SKY』における、成田空港内新店舗の増設、低採算店舗の運営形態の見直し、商品力の強化による集客力の向上などにより、下期の増益をはかってまいります。

これらにより、通期の業績においては、期初予想どおり、増収増益を見込んでおります。